

大阪・関西万博  
関西パビリオン

運営実施計画書  
【概要版】

2024/04/25

関西広域連合

## 目次

**1 全体概要**

|               |         |
|---------------|---------|
| 1-1 博覧会概要     | P.3     |
| 1-2 パビリオン出展概要 | P.4～P.6 |

**2 パビリオン概要**

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 2-1 パビリオン建築概要   | P.8      |
| 2-2 パビリオン展示構成   | P.9～P.11 |
| 2-3 府県ゾーン【滋賀県】  | P.12     |
| 2-4 府県ゾーン【京都府】  | P.13     |
| 2-5 府県ゾーン【兵庫県】  | P.14     |
| 2-6 府県ゾーン【和歌山県】 | P.15     |
| 2-7 府県ゾーン【鳥取県】  | P.16     |
| 2-8 府県ゾーン【徳島県】  | P.17     |
| 2-9 府県ゾーン【福井県】  | P.18     |
| 2-10 府県ゾーン【三重県】 | P.19     |

**3 運営サービス**

|                            |      |
|----------------------------|------|
| 3-1 運営計画                   | P.21 |
| 3-2 運営組織体制                 | P.22 |
| 3-3 運営要員 業務概要              | P.23 |
| 3-4 一般来館者対応 入場規定           | P.24 |
| 3-5 一般来館者対応 予約について         | P.24 |
| 3-6 入場方式と一般来館者動員目標         | P.24 |
| 3-7 待機列【通常時】               | P.25 |
| 3-8 ベビーカー対応                | P.25 |
| 3-9 雨天時対応                  | P.25 |
| 3-10 VIP対応                 | P.25 |
| 3-11 外国語対応                 | P.25 |
| 3-12 車いす対応                 | P.25 |
| 3-13 障がい者対応／サポートを希望する方への対応 | P.26 |
| 3-14 プレス対応                 | P.26 |
| 3-15 遺失拾得物対応・迷子（迷い人）対応     | P.26 |
| 3-16 各種トラブル対応              | P.26 |

**4 警備計画 / 5 清掃計画**

|          |      |
|----------|------|
| 4-1 警備方針 | P.28 |
| 5-1 清掃方針 | P.28 |
| 5-2 ごみ処理 | P.28 |

**6 緊急時対応**

|              |      |
|--------------|------|
| 6-1 基本方針     | P.30 |
| 6-2 実施可否判定会議 | P.30 |
| 6-3 緊急対策会議   | P.31 |
| 6-4 各種緊急時対応  | P.31 |

**7 運営要員採用・研修計画**

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 7-1 運営要員採用・研修計画 | P.33～P.34 |
|-----------------|-----------|

# 1 全体概要

## 1-1 博覧会概要

## 博覧会概要

- 名称 : 2025年日本国際博覧会 (略称「大阪・関西万博」)
- テーマ : いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)
- サブテーマ : Saving Lives (いのちを救う)  
Empowering Lives (いのちに力を与える)  
Connecting Lives (いのちをつなぐ)
- コンセプト : People's Living Lab (未来社会の実験場)
- 会場 : 夢洲 (大阪市臨海部)
- 開催期間 : 2025年4月13日 (日曜日) ~10月13日 (月曜日)
- 来場者想定 : 約2,820万人



(提供: 2025年 日本国際博覧会協会)

| 催事施設名 |                         |
|-------|-------------------------|
| A     | EXPO ホール                |
| B     | EXPO ナショナルデーホール         |
| C     | ギャラリー East              |
| D     | ポップアップステージ南             |
| E     | ポップアップステージ<br>東外/東内/西/北 |
| F     | EXPO アリーナ               |
| G     | EXPO メッセ                |
| H     | ギャラリー West              |



©Expo 2025

大阪・関西万博  
公式キャラクター  
ミヤクマル

## 1-2 パビリオン出展概要

## 出展概要

- 名称 : 関西パビリオン
- テーマ : いのち輝く関西悠久の歴史と現在
- 出展参加でめざすもの : 「地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信  
「関西各地へのゲートウェイ」
- 位置 : 東通り北側（下図参照）
- 出展の主体 : 関西広域連合（※）
- 出展参加府県 : 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県
- 基本構成 : ①関西全体を表現する展示エリア  
②出展参加府県による独自展示エリア  
③WEBパビリオン
- 開館時間 : 9:15～21:00（予定）

※関西広域連合構成府県市：  
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、  
鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市  
※福井県・三重県も関西広域連合の連携団体として参加



（提供：2025年 日本国際博覧会協会）

## 出展の意義

- 現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の脅威を乗り越え、日常を取り戻しつつありますが、パレスチナ・ウクライナ情勢や気候変動等の世界共通の課題が大きな影響をもたらしています。
- 大阪・関西万博では、世界が一つとなり、共通の課題の解決に向けて、いのち輝く未来社会のありようを共有することで、新たな一歩を踏み出していきます。
- 大阪・関西万博は、SDGsの目標年である2030年を見据え、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざすというSDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会だと考えます。
- 関西パビリオンは、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、関西が有する歴史・文化や伝統産業・最新技術等の魅力を国内外の人々に発信し、地域経済の成長や観光客の来訪促進等、関西圏域の活性化を図っていきます。
- また、関西の各地域においても、大阪・関西万博を契機に、多様な価値観の交流により生まれる新たなイノベーションの創出や地域の魅力の再発見等により、人々の生活の質（QOL）の向上や地方創生の実現をめざします。

## 1-2 パビリオン出展概要

### 出展参加のテーマ

関西パビリオンが出展参加するにあたってのテーマは「いのち輝く関西悠久の歴史と現在」です。

このテーマには、関西の悠久の歴史（過去）と現在に触れ、感じてもらうことで、未来の姿を来館者それぞれに描いてもらいたいという思いを込めています。

#### ①悠久の歴史（過去）

- 関西には、ユネスコの登録世界遺産が6件、文化庁が認定している日本遺産が32件登録されており、世界・日本遺産のほかにも、能や狂言、文楽等の伝統芸能、各地域の祭り等の行催事といった無形の文化財が根付いています。これらを通じ、関西の悠久の歴史を肌で触れ、感じられる展示を展開します。

#### ②現在

- 現在の関西をより深く体感してもらうため、最新技術等を用い、悠久の歴史（過去）を受け継いだ現在の姿を表現します。

#### ③未来

- 来館者の皆さんには、関西の過去・現在をご覧ください。そこから何を感じ、どのような行動につながっていくのかは人それぞれです。展示を通して感じ取り、想像する関西の「未来社会のデザイン」が、来館者ひとりひとりの心の中に生まれ、イマジネーションを刺激するパビリオンをめざします。

### 出展参加でめざすもの

大阪・関西万博のテーマを踏まえ、参加府県の創意工夫のもと、各地域の生活環境、地域産業、観光・文化等魅力を体現し、日本で最も長く息づき根付いてきた地域の「いのち」の姿と未来へと続く「いのち」の姿を国内外の人々に伝え、関西各地への来訪を促すゲートウェイとなるパビリオンをめざします。

#### ①地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信

##### □ 受け継がれてきた歴史と観光文化資源に彩られた地域の魅力

古代の都・奈良、千年の都・京都をはじめとし、関西は長きにわたり受け継がれてきた歴史・文化を有しています。現在も息づく観光・文化資源等の地域の魅力を体感できる展示を行います。

##### □ 住みよく働きやすい地域の力

パビリオンにおける展示や各地域での取組を通じ、住みよく働きやすい地域の力に触れてもらうことで、移住・定住の促進します。

##### □ 新たな産業を創造する地域の活力

大阪・関西万博を契機とした新技術やサービス等を実装・実証し、誰もが心身豊かで快適に暮らしやすい未来社会のモデルを創造し、提案できる取組をめざします。

#### ②関西各地へのゲートウェイ

##### □ 関西各地への来訪を促す展示

来訪者に関西地域での暮らし・仕事・楽しみを示し、大阪・関西万博会場から関西各地へ、また、関西各地から大阪・関西万博会場への来訪を促すような展示を展開し、関西各地へのゲートウェイとなることをめざします。

##### □ 会場内外のイベントとの連携

自治体参加催事やテーマウィークとの連携・連動、関西各地での大阪・関西万博関連イベントの実施等、会場内外で大阪・関西万博のテーマを表現し、地域の活力を引き出し、イノベーションを創出する取組をめざします。



## 1-2 パビリオン出展概要

### 出展参加の主体・府県、関係機関等との連携

- 関西パビリオンは、関西2府6県4市で構成する関西広域連合が主体となって出展しており、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県が参加するとともに、関西広域連合の連携団体である福井県及び三重県も参加します。

また、関西パビリオンは大阪ヘルスケアパビリオンと隣接しており、一体的な大阪・関西エリアを形成しています。オール関西で、その魅力を内外に発信していくために、屋外スペースの共用や情報発信等により協力・連携を図っていきます。さらに、経済団体や企業、大学等との産学官連携や府県市民の参加等、多様な主体が大阪・関西万博に参画できる仕組みづくりをめざします。



### SDGsの取組

「いのち輝く未来社会のデザイン」という大阪・関西万博の開催テーマには、国連が掲げる2030年の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にとどまらず、+beyond（2030年より先）への飛躍の機会となる期待が込められています。関西パビリオンにおいても、SDGsの達成、さらにその先の持続可能な社会の実現に向け取り組んでいきます。

#### 【関西パビリオンで特に取り組むゴール】

| 取組                                | ゴール                          |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 関西全域に波及効果をもたらす地域活性化につながる取組        | ゴール8<br>「働きがいも経済成長も」         |
|                                   | ゴール11<br>「住み続けられるまちづくりを」     |
| ユニバーサルデザインに基づく空間設によるインクルーシブな社会の実現 | ゴール10<br>「人や国の不平等をなくそう」      |
| 3Rやプラスチックごみ対策を通じた環境配慮             | ゴール12<br>「つくる責任つかう責任」        |
|                                   | ゴール14<br>「海の豊かさを守ろう」         |
| 参加府県や関係団体との連携・協働による目標達成           | ゴール17<br>「パートナーシップで目標を達成しよう」 |

## 2 パビリオン概要



## 2-1 パビリオン建築概要

## 建物のコンセプト

□ 笑顔あふれる輝く未来へ、いつも楽しい、にぎわいのパビリオン

## 【特徴】

- ① 灯籠をイメージした六角形のパビリオン
- ② 最高12mの高さを活かした展示
- ③ 膜をスクリーンとしたプロジェクションマッピング
- ④ いこしえより受け継がれてきた切り絵で“関西”を表現
- ⑤ 多目的エリアでのイベント開催
- ⑥ 軽量素材・省資源化による環境負荷及びコスト低減

## 建物規模

敷地面積：2,453.01㎡  
 建築面積：1,656.81㎡（建ぺい率：67.55%）  
 延床面積：1,877.17㎡

## 外観（イメージパース）



## 内観（イメージパース）



## 2-2 パビリオン展示構成

### 基本的な考え方

関西パビリオンの展示は、①関西全体を表現する展示エリア、②出展参加府県による独自展示エリア、③関西広域連合WEBパビリオンで展開し、関西広域連合及び参加府県が創意工夫を凝らし魅力ある関西を表現し、関西各地への来訪を促進します。

#### ①関西全体を表現する展示エリア

- ❑ 関西全体を表現する展示エリア（大関西広場）は、関西パビリオンのエントランスとして、「関西と関西各府県の歴史と文化の魅力」を主眼に置いた展示を展開し、関西の魅力を一体的に表現します。

#### ②出展参加府県による独自展示エリア

- ❑ 出展参加府県による独自展示エリア（府県ゾーン）は、それぞれの府県が来館者を訴求したいポイントに沿い趣向を凝らした展示を展開します。
  - ❑ 府県ゾーンは大関西広場の周りに放射状に配置し、来館者が訪れたい府県ゾーンに自由にアクセスできる動線とすることにより、それぞれの府県が展示を高め合い、来館者を誘導します。
- ※奈良県は府県ゾーンは有しませんが、大関西広場や多目的エリア、WEBパビリオン等の中で奈良県魅力を発信していきます。

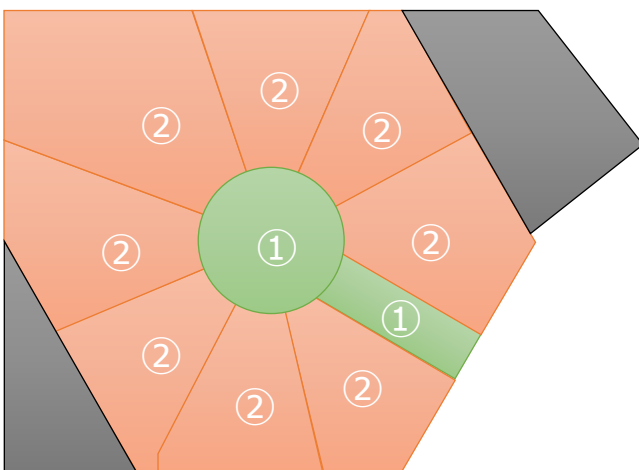
#### ③関西広域連合WEBパビリオン

- ❑ 関西広域連合WEBパビリオンは、会場に来ることができない人も関西パビリオンを体感できるよう、WEB上でも関西の魅力を発信していきます。リアルパビリオンとの連動やWEB独自のコンテンツ、周遊観光等地域への来訪を促進する機能を付加する等、WEBの特性を活かし、発信していきます。
- ❑ また、大阪・関西万博の開幕に先駆けてオープンすることにより機運醸成を図るとともに、関西パビリオン、ひいては大阪・関西万博へ来場を促進し、大阪・関西万博の成功につなげていきます。

### 展示構成図

#### ①関西全体を表現する展示エリア

#### ②出展参加府県による独自展示エリア



#### ③関西広域連合WEBパビリオン



## 2-2 パビリオン展示構成

### 大関西広場（センターサークル）

多種多様な関西の魅力が来館者を魅了するセンターサークル

- 各府県ゾーンへの入口上部の円形の壁面に「360°LEDサークルビジョン」を配置します。



### 大関西広場（エントランスゾーン）

時空を超え“非日常”空間へと誘うエントランスゾーン

- 来館者を非日常空間に引き込むために、関西パビリオンのコンセプトを体現する“歴史絵巻”をたどるワープトンネル空間を創出します。



### 多目的エリア（赤枠箇所）

- 関西パビリオン建物本体に隣接して設置する多目的エリアにおいて、祭りや関西企業による最新技術展示等、様々な行・催事を、一定期間で入れ替え実施します。





## 2-2 パビリオン展示構成

### 多目的エリア・屋外広場の利用イメージ

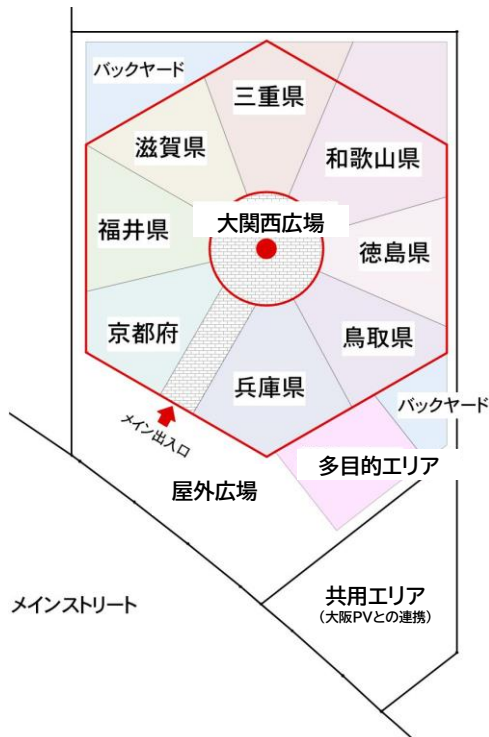
#### 多目的エリア・屋外広場

##### □ 多目的エリアの利用イメージ

- ・ 祭り
- ・ 音楽ステージ
- ・ 試飲・試食
- ・ 物販
- ・ 産業展示 等

##### □ 屋外広場の利用イメージ

- ・ 入館待機列
- ・ 来館者滞留空間
- ・ 情報発信
- ・ イベント 等



### 多目的エリア 催事スケジュール案

- 各参加府県が1週間×2回を基本として催事を展開します。
- 下記カレンダーの空いている日程に関しては、今後調整を進めます。

凡例： ■ 月曜夜設営・準備 ■ 出展期間 ■ 日曜夜撤去

|         | 2025年4月  |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    | 2025年5月         |    |    |    |   |   |   |     |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |
|---------|----------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----------------|----|----|----|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|
|         | 13       | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20  | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27              | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | 3 | 4   | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |   |   |   |
|         | 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日               | 月  | 火  | 水  | 木 | 金 | 土 | 日   | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木 | 金 | 土 |
| テーマウィーク | 未来への文化共創 |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    | 未来のコミュニティとモビリティ |    |    |    |   |   |   |     |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |
| 催事の主体   | 奈良県      |    |    |    |    |    |    | 京都府 |    |    |    |    |    |    | 和歌山県            |    |    |    |   |   |   | 兵庫県 |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |

|         | 5月       |    |    | 2025年6月 |   |   |   |     |   |   |             |   |    |    |     |    |    |    |    |    | 2025年7月 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |
|---------|----------|----|----|---------|---|---|---|-----|---|---|-------------|---|----|----|-----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|
|         | 29       | 30 | 31 | 1       | 2 | 3 | 4 | 5   | 6 | 7 | 8           | 9 | 10 | 11 | 12  | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18      | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|         | 木        | 金  | 土  | 日       | 月 | 火 | 水 | 木   | 金 | 土 | 日           | 月 | 火  | 水  | 木   | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水       | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木  | 金  | 土  | 日  |
| テーマウィーク | 食と暮らしの未来 |    |    |         |   |   |   |     |   |   | 健康とウェルビーイング |   |    |    |     |    |    |    |    |    |         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |
| 催事の主体   | 滋賀県      |    |    |         |   |   |   | 三重県 |   |   |             |   |    |    | 福井県 |    |    |    |    |    |         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |

|         | 2025年7月 |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    | 2025年8月 |    |    |    |   |   |   |     |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |
|---------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|
|         | 14      | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21  | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28      | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4   | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |   |   |
|         | 月       | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月   | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月       | 火  | 水  | 木  | 金 | 土 | 日 | 月   | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金 | 土 |
| テーマウィーク | 学びと遊び   |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    | 平和と人権   |    |    |    |   |   |   |     |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |
| 催事の主体   | 鳥取県     |    |    |    |    |    |    | 徳島県 |    |    |    |    |    |    | 鳥取県     |    |    |    |   |   |   | 滋賀県 |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |

|         | 8月          |    |    | 2025年9月 |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |                      |    |    |     |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    | 2025年10月 |     |    |   |   |   |   |   |     |   |   |   |    |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------|-------------|----|----|---------|---|---|---|---|---|---|------|---|----|----|----------------------|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----------|-----|----|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|----|----|----|----|---|---|---|---|---|
|         | 29          | 30 | 31 | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8    | 9 | 10 | 11 | 12                   | 13 | 14 | 15  | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22  | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28       | 29  | 30 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6   | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |   |   |   |   |   |
|         | 金           | 土  | 日  | 月       | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月    | 火 | 水  | 木  | 金                    | 土  | 日  | 月   | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月   | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日        | 月   | 火  | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月   | 火 | 水 | 木 | 金  | 土  | 日  | 月  | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| テーマウィーク | 地球の未来と生物多様性 |    |    |         |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    | SDGs+Beyondいのち輝く未来社会 |    |    |     |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |          |     |    |   |   |   |   |   |     |   |   |   |    |    |    |    |   |   |   |   |   |
| 催事の主体   | 滋賀県         |    |    | 三重県     |   |   |   |   |   |   | 和歌山県 |   |    |    |                      |    |    | 福井県 |    |    |    |    |    |    | 兵庫県 |    |    |    |    |    |          | 京都府 |    |   |   |   |   |   | 徳島県 |   |   |   |    |    |    |    |   |   |   |   |   |

## 展示概要

## 出展参加のテーマ

## Mother Lake

～びわ湖とともに脈々と～

英語版：Mother Lake

～ Sustainable Living with Lake Biwa ～

滋賀の人々は、はるか昔から、琵琶湖のそばで、琵琶湖を活かし、琵琶湖を守り、さまざまな知恵や工夫を用いながら共生してきました。そしてこれからも、新しい技術を生み出し、取り入れながら、持続可能な生活を、築いていきます。そんな独自のいとなみに、あなたも触れてみませんか。そして、新しい未来を創造してみませんか。



## 展示コンセプト

## Mother Lake アドベンチャー

日本一大きな湖「びわ湖」を中心とする滋賀の豊かな自然と、その中で育まれてきた人々のくらしや文化を内包した持続可能ないとなみを、映像・音・光のインスタレーションのノンバーバルな演出により、空間全体で体感いただけます。

さらに、タブレットやお手持ちの端末には、展示に連動したさまざまな情報を展開し、アナログな手法と組み合わせて、滋賀の持つ魅力の発見を促進します。

## 大切にしたい視点

誰もが楽しめる  
ユニバーサル  
デザイン子どもたちが  
ワクワクできる  
体験記憶に残る  
ダイナミックな  
演出

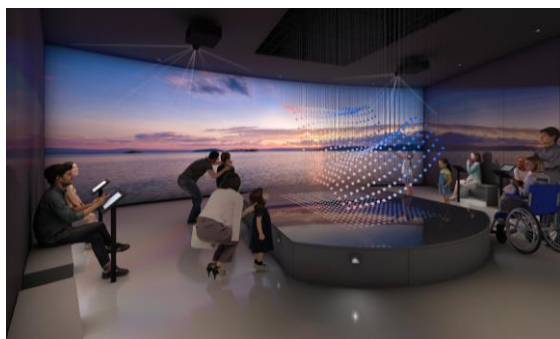
## 展示イメージとレイアウト

## 1 プレショー

潜水艇で、万博会場を囲む海から、水の流れをさかのぼり、びわ湖へ。これから始まるメインショーへの期待に胸が高鳴ります。



## 2 メインショー



(1) 季節、時間、天気等、条件によってさまざまな姿を見せる「七色の湖」の美しさを体感いただけます。  
うみ



(2) 「水のつながり」を軸に、滋賀特有の持続可能な暮らしを紹介します。

## 展示のポイント

## キネティックライトビジョン

中央のステージで、ワイヤーに吊られた無数の球体が、上下しながら発光し、ドローンが夜空に描くような立体表現で空間を演出します。



## 展示概要

## &lt;全体テーマ&gt;

## 一緒につくろう、京都の未来 ～伝統と革新で拓く～

Come Together , Create the Future  
～ Leading with Tradition and Innovation ～

## コンセプト

- 国家の枠組みを超えて、人と人との集い、語り、新しい関係が構築される場所
- 川や水のように形を変えながら、府域とつながり、京都に訪れたい場所

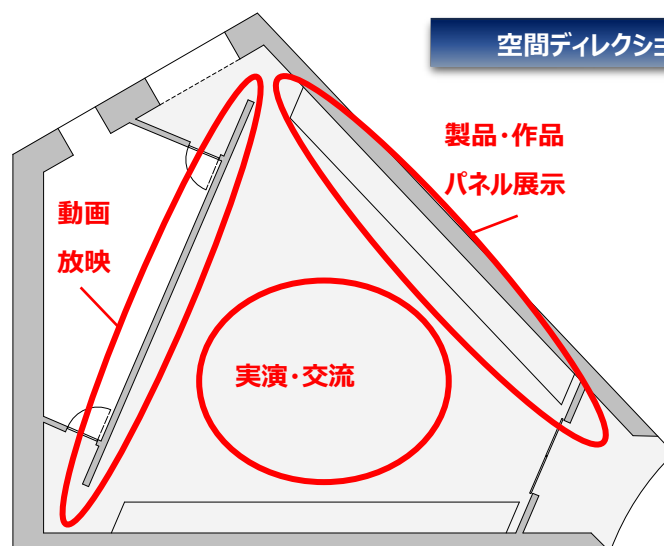
## 特徴

- ・ コンセプトを踏まえた京都らしいデザインです。
- ・ 「文化・環境」「産業」「観光」「地域」の各分野をテーマにした企画が一定期間ごとに展開します。
- ・ 未来の京都を担う若い世代が中心となり、府民や府内企業の活力や想像力を最大限発揮した企画を展開します。
- ・ 来館者は展示の他、実演や交流イベント等により、京都の魅力や奥深さを体感できます。
- ・ 来館者が府域のイベントと連携した企画に触れ、本物の京都を訪問できます。

## ゾーンの名称

## (仮称) ICHI-ZA KYOTO 一座きょうと

テーマは「一座建立」。京都府内各地の取組や魅力を発信するだけでなく、未来を共創していくにふさわしく発表者と来館者が心を通い合わせて一体感を生む場を創出します。



## Sandwich





## 展示概要

# HYOGO ミライバス

時空を超えた旅で兵庫県の魅力を体感する  
アトラクション型映像空間



## ロゾーニング

- 導入展示  
一度に約50名程度の来館者を入場させ、メインホールへスムーズに移動させる役割を担います。
- メインホール  
着座式の大型シアター空間です。映像体験終了後は、退出路からの退場と入場案内を同時に行います。

## 各展空間説明



### 1. コウノトリの回廊

生命を運ぶ鳥、県鳥コウノトリがミライバスへと来館者を導く、地域とつなぐ、兵庫の未来に誘う回廊ができます。

### 2. ステンドグラスの回廊

ステンドグラスアートの幻想空間です。  
兵庫県の魅力を印象的に表現します。



### 3. メインホール

時空を縦横無尽に飛び回るバスツアーです！  
兵庫の歴史・文化・産業技術から兵庫の魅力を伝えます。



## 展示概要

## テーマ

## 和歌山百景 — 靈性の大地 —

〔神話の時代から続く精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化等の多様な魅力を「和歌山百景」として表現〕

## コンセプト

## “上質” のつまった和歌山

## 出展の意義

- 和歌山県の紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な場所とされ、寛容の精神を以て、宗教や身分、考え方の違いに関わらず、全てを受け入れ、融合・共存させてきました。
- その精神文化は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとなり得ると考え、これを展示によって表現します。



＜和歌山ゾーン イメージ＞

## 和歌山のポテンシャルを引き出す3つのコンテンツにより構成

## 映像コンテンツ

紀伊山地の巨木も彷彿とさせる映像タワー「トーテム」に、自然風景や神話や歴史等を映し出します。

## センターコンテンツ

中央ステージにて、「和歌山の今を生きる人」に焦点を当て、多様なパフォーマンスや県産品の展示等を行います。

## フードコンテンツ

カウンターバーにおいて、豊かな和歌山の食の魅力を感じてもらう場を提供します。

## 展示構成





## 2-7 府県ゾーン【鳥取県】

## 展示概要

- 導入展示では「**まんが王国とっとり**」の取組や観光情報を発信します。
- メイン展示では「**鳥取無限砂丘**」で映像体験や虫眼鏡デバイスでの魅力探索体験を実施します。

## 導入展示イメージ

- まんが王国と通りの誇る3巨匠のキャラクター像や風紋を施した巨大な壁で来館者を迎え、メイン展示ゾーンへの期待感を高めます。



## 【メイン展示イメージ】－鳥取無限砂丘－

- 来館者は、「鳥取魅力名探偵」となって、鳥取砂丘の砂を敷き詰めた床など虫眼鏡デバイスをかざすことで、観光・グルメ・工芸等、鳥取県の魅力アイテムを発見できます！

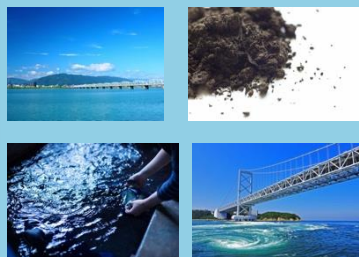


## 展示概要

- 体験のテーマは徳島の“サステナブル”“ナチュラル”“スピリチュアル”。
- 中央部に、「伝統から紡ぐ未来」「鳴門の渦潮」をイメージする象徴的な伝統工芸による造作を設置します。
- 内部にはヴァーチャル観光シアターを備え、壁面やオブジェ周囲にはデザインを共通にした展示スペースを設けています。
- オブジェを中心に緩やかな導線を作り、山・川・海の水の流れを表現します。

## キーカラー

「藍色」を中心とした青系



## デザインモチーフ

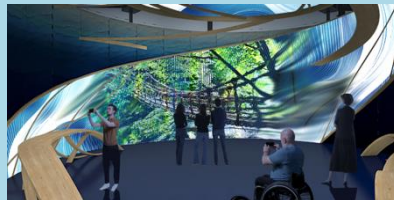
徳島の「伝統工芸」



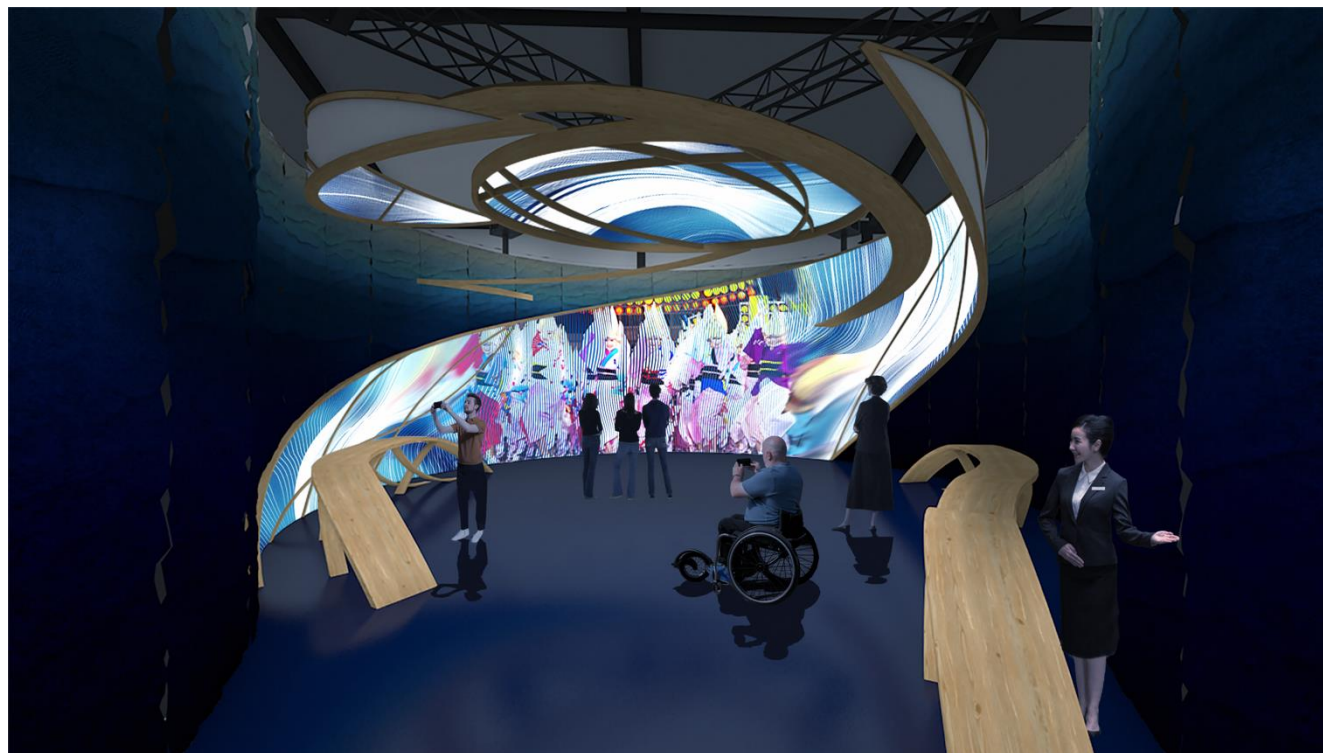
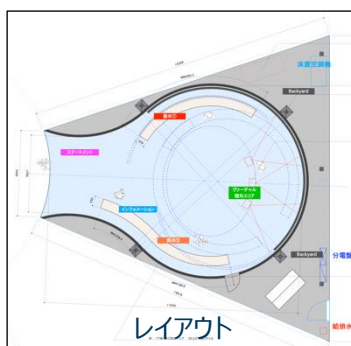
スペース全体を展示物として捉え、  
手触りや匂いを体感できます。

## メインコンテンツ

「ヴァーチャル観光」



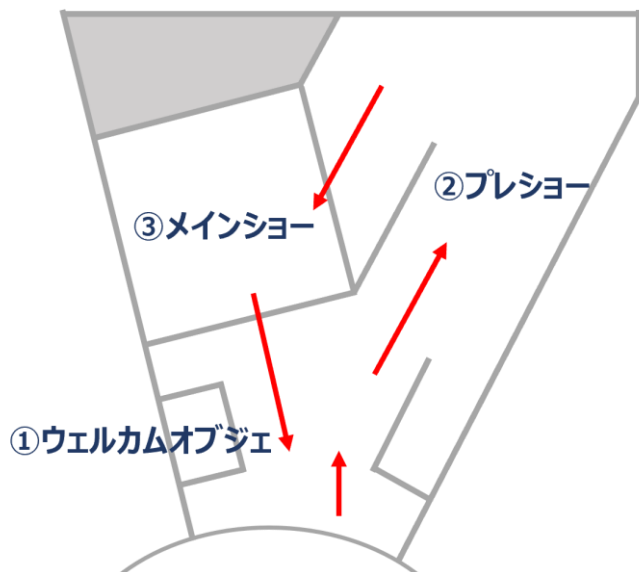
没入型映像による視覚と音で観光資源  
の印象を強く持ち帰ることができます。





## 展示概要

- 地層のトンネルを通りながら、懐中電灯型デバイスを使った恐竜化石の探索体験は、化石発掘調査員になった気分を味わえます。
- 360度の没入感のある映像は、迫力ある恐竜の繁栄や絶滅、わたしたち人類が命を繋ぐ現代まで、時空を超えたいのちの旅を楽しめます。
- 世界三大恐竜博物館と言われる福井県立恐竜博物館のほか、東尋坊、三方五湖など世界的にも評価が高い景勝地をご紹介します。



### ① ウェルカムオブジェ

#### フクイラプトルのお出迎え

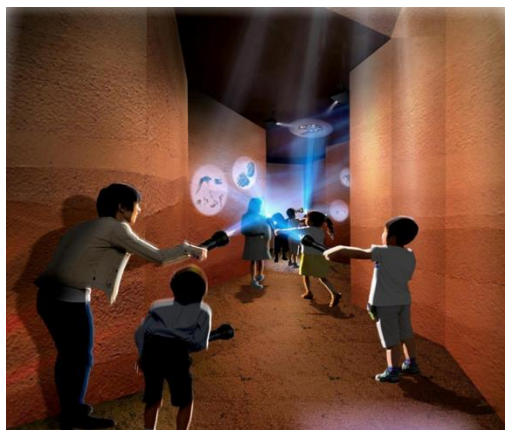
肉食恐竜として日本で初めて全身骨格が復元されたフクイラプトルの実寸大のモニュメントが期待感を演出します。



### ② プレショー

#### 恐竜化石の探索体験

地中から恐竜の化石や生体を発見する探索体験ができます。



懐中電灯型デバイスで壁面や天井を照らすと、恐竜の化石や生体が現れるなど来館者の興味・関心を高めます。

### ③ メインショー

#### 迫力ある360度VR映像

4面を映像で囲み、恐竜の繁栄、絶滅から未来を見つめるVR体験ができます。



白亜紀から現代、そして未来の福井を体感するシアター空間。暗闇の中から聞こえる草摺りの音や重低音による爆発音等体験的な音の演出を加え、万博ならではの迫力ある体験型映像です。

## 展示概要

## テーマ 日本のごころの原点 ～ 美し国みえへとつづく時を超えた物語 ～

- 三重県では、古くから、多様な人々が暮らし、美しい自然や歴史・文化を大切にしながら、知恵と工夫で常に新しいものを生み出し、発展してきました。
- これは、三重県のみならず、いわば「日本のごころの原点」であると言え、それを象徴する存在が、千年以上も紡がれてきた伊勢神宮や熊野古道伊勢路などです。
- この「ごころの原点」とも言える物語を、三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間演出で来館者の皆様に体感・体験していただきます。

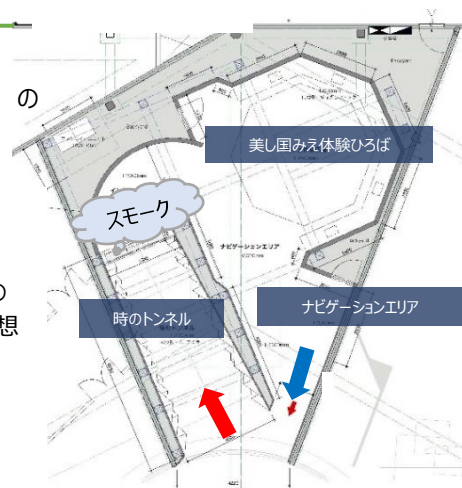
## ブースゾーニング

- 三重県が世界に誇る魅力に「出会う」（時のトンネル）、多様な魅力を「知る」（美し国みえ体験広場）、三重へ「旅立つ」（ナビゲーションエリア）の3つのゾーンで構成します。



## 1 出会う ～ 時のトンネル ～

- 万博会場にしながら「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開します。
- 県内29市町の海や山といった美しい自然や観光地などの映像で来館者をゾーンに誘引します。



## 2 知る ～ 美し国みえ体験広場 ～

- 県内5エリアの自然、観光、文化、祭り、食に係る映像コンテンツを壁面スクリーンに投影するほか、各エリアの魅力を伝えるコンテンツを「見る、触れる、聴く」など、五感を使って体験できる展示を行います。
- また、会期中に「熊野古道」や「常若（とこわか）」などの特集テーマ期間を設け、テーマに合わせた映像の投影や期間限定の特別展示を行います。



## 3 旅立つ ～ ナビゲーションエリア ～

- コンシェルジュを配置し、来館者一人ひとりの興味関心に応じた情報提供するとともに、デジタルマップから観光情報の閲覧や二次元コードで情報を取得できるようにします。



## 3 運営サービス

## 3-1 運営計画

### 基本的な考え方

- 来館者の安全・安心を確保するとともに、快適に鑑賞できる環境をつくり、円滑なパビリオン運営をめざします。

### 運営計画

- 来館されるすべての人々に向けて、施設面ではユニバーサルデザインの徹底を図るとともに、運営面でも乳幼児、高齢者、妊婦の方、障がいのある方、外国の方々等、「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方に則って、適切な配慮を行います。
- 日本国際博覧会協会が導入が検討されている予約システムを活用しながら、できる限り待ち時間の発生しない運営をめざします。また、国内外からのVIP来館を想定し、VIPルームの整備や接遇等により、適切なVIP対応を行います。

### スタッフ計画

- 運営スタッフは、入場整理、館内誘導、警備、清掃等パビリオン全体の運営に係るスタッフと、府県ゾーンの展示に係るスタッフが適切な役割分担のもと協働し、来館者に対しシームレスなサービス提供をしていきます。
- 計画的な募集・採用活動を行うとともに、準備段階における接客サービスの教育や運営シミュレーション等を充実させ、質の高いサービスを提供します。

### リスク対応方針

- 全ての来館者・関係者の安全・安心を確保するための施設管理方針を策定するとともに、実効性の高い警備・清掃等の計画を実施します。
- また、防火・防災・防犯のために必要な運営与件の整理を行い、建築計画と連動していきます。会場ロケーションも考慮し、地震や津波・豪雨・暴風等の自然災害や火災・事故・事件・傷病者の発生等の緊急時対策、感染症に関する対策等を講じます。

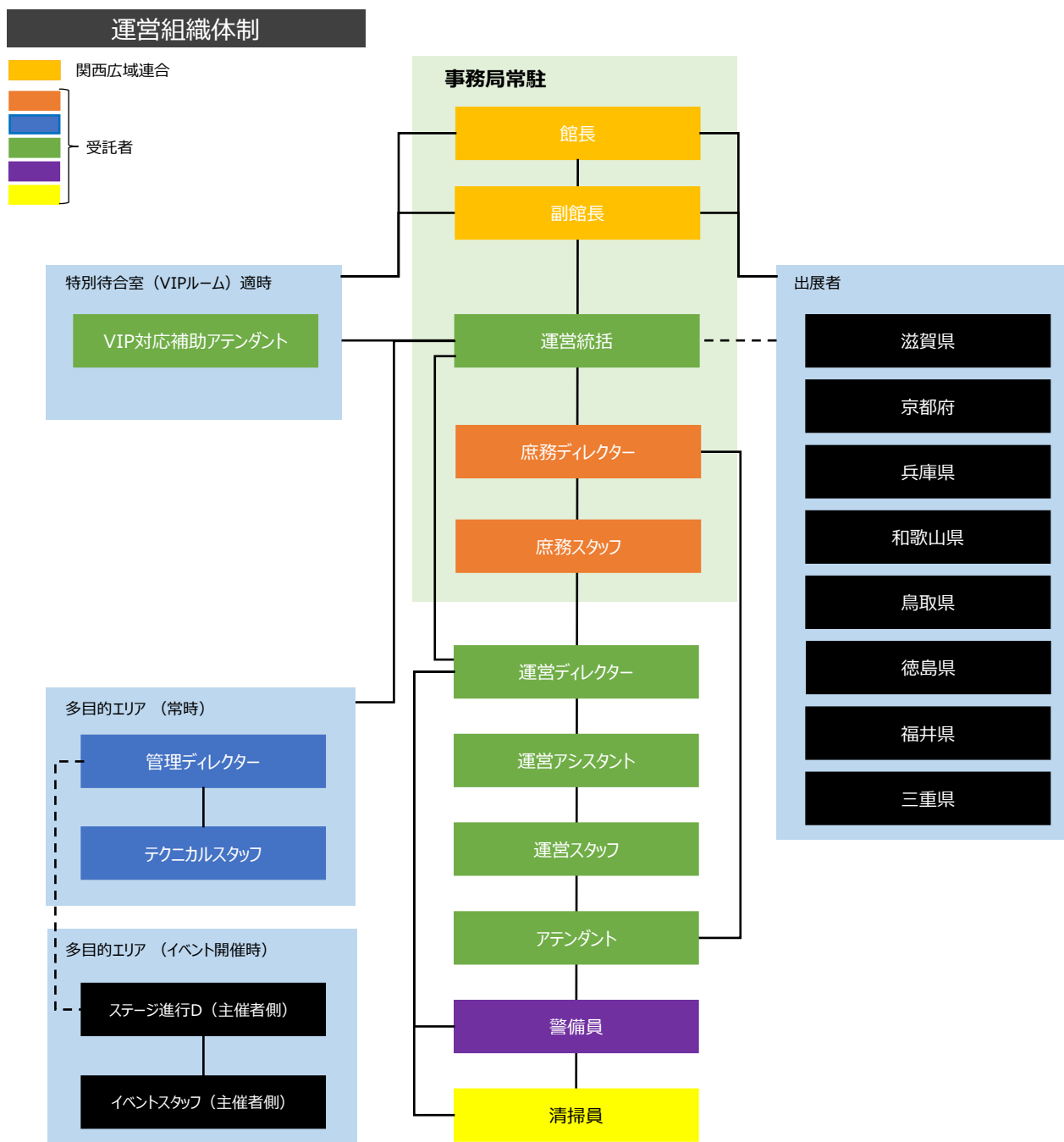
### 運営方針

- 来館者の安全・安心を確保するとともに、快適に鑑賞できる環境をつくり、円滑なパビリオン運営をめざします。
- パビリオン前の行列をできる限り回避させる“並ばせない”パビリオンをめざします。日本国際博覧会協会が導入を検討しているパビリオン予約システムを最大限有効活用し、“事前予約”と“当日予約”の予約枠配分の適正化を図るとともに、繁忙期・閑散期等の状況に応じフレキシブルに対応します。

### 各府県ゾーン内との連携

- パビリオン全体のスタッフと各府県スタッフとのシームレスな連携を実現するため、早期に各府県との連携体制を構築します。
- 定期的に情報交換をするとともに、当日は来館者に関する情報や運営オペレーションの変更点等を常に共有する場も設け、来館者へのミスインフォメーションによるトラブルを未然に防止します。

## 3-2 運営組織体制

**多目的エリアのスタッフについて**

- ❑ 多目的エリアでのイベント実施に係るスタッフは、イベント主催者が手配します。
- ❑ 多目的エリアの管理D及びテクニカルスタッフは、イベント開催の有無にかかわらず常時配置します。

**関係者情報共有手段**

- ❑ 各府県含む関係者の情報共有手段として、日々の朝・終礼に加えて、トランシーバーの活用等を検討します。
- ※ 運営回線・出展者回線・多目的エリア回線のトランシーバーは、別チャンネルで運用します。

## 3-3 運営要員 業務概要

| 役職  |           | 業務内容  |
|-----|-----------|---|
| 館長  | 館長        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体統括</li> </ul>  |
| 副館長 | 副館長       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 館長の代理業務</li> <li>● VIP対応</li> <li>● VIP誘導案内</li> <li>● 記念品贈呈 等</li> </ul>  |
| G   | 運営統括      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営業務全般</li> <li>● 進行管理・業務指示</li> <li>● 府県との調整</li> <li>● VIP対応管理 等</li> </ul>  |
| D   | 運営ディレクター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 館内運営業務全般</li> <li>● 運営スタッフ管理 等</li> </ul>  |
| AD  | 運営アシスタント  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営ディレクターの補助業務</li> </ul>   |
| S   | 運営スタッフ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 待機列管理（事前予約・当日予約）</li> <li>● 入館管理（入館チェック、入館者数カウント）</li> <li>● 退館管理（退館チェック、退館者数カウント）</li> <li>● 安全管理 等</li> </ul>  |
| A   | アテンダント    | <p>【出入口誘導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 誘導案内（出入口動線確保） 等</li> </ul> <p>【大関西広場管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示物説明補助</li> <li>● 誘導案内</li> <li>● 混雑箇所の導線確保 等</li> </ul> <p>【VIP対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● VIP誘導案内補助</li> <li>● VIP入退館管理</li> <li>● VIP室清掃</li> <li>● ドリンク提供・記念品贈呈補助 等</li> </ul> |
| K   | 警備員       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災・防犯・設備機器の諸警報の監視および一時対応</li> <li>● 入退館口における、安全管理</li> <li>● 閉館および閉館業務</li> <li>● 緊急事態発生時の対応対処 等</li> </ul>  |
| S   | 清掃員       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 館内定時清掃対応</li> <li>● 入退館口汚濁時の清掃対応 等</li> </ul>  |
| SD  | 庶務ディレクター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本国際博覧会協会への各種申請業務</li> <li>● 備品・消耗品等管理</li> <li>● 業務推進・改善対応</li> <li>● アテンダント管理 等</li> </ul>   |
| S   | 庶務スタッフ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 庶務ディレクターの補助義務</li> </ul>   |
| D   | 管理ディレクター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント進行業務全般</li> <li>● 進行管理・業務指示</li> <li>● イベントスタッフの管理 等</li> </ul>  |
| T   | テクニカルスタッフ | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機材管理・調整 等</li> </ul>   |

### 3-4 一般来館者対応 入場規定

- 日本国際博覧会協会のシステムを活用し、事前予約と当日予約をされた方に発行される認証コードで入館をご案内します。



### 3-5 一般来館者対応 予約について

- 日本国際博覧会協会システムを活用し、事前予約者に発行される認証コードで時間指定入場を想定しています。
- 予約システムに関しては変更の可能性があります。



(提供: 2025年 日本国際博覧会協会)

### 3-6 入場方式と一般来館者動員目標

- 「入替方式」ではなく、15分間隔で一定数に入館いただく「ウォークスルー方式」の採用を検討します。
- 1回ごとの定数に関しては、府県ゾーンの定員やエントランス前の待機スペース（75.6㎡）を基に、常時440名程度の滞留を想定します。

| 時間              | 9:15 | 9:30 | 9:45 | 10:00 | 10:15 | 10:30 | 10:45 | 11:00 |
|-----------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 例：<br>60分<br>滞在 | ■    |      |      |       |       |       |       |       |
|                 |      | ■    |      |       |       |       |       |       |
|                 |      |      | ■    |       |       |       |       |       |
|                 |      |      |      | ■     |       |       |       |       |

館内の入場者数

約810,000人



多目的エリア入場者数

約190,000人



関西パビリオン  
来館者数  
(想定)  
約100万人

※学校行事等の団体来館者数は考慮していません。

### 3-7 待機列【通常時】

- 入館は予約制としますが、入館時刻前の来館者や順次入館者の整理のため、日よけも設置した待機エリアを設けます。

### 3-8 ベビーカー対応

- 基本的にベビーカーはそのままご入館いただきますが、ご希望に合わせて置き場の設定を検討します。

### 3-9 雨天時対応

- 傘は持ち込んでいただきます。入館口に傘取りを設置します。
- 入場の際に傘取りを利用していただき、館内での雨水による転倒等のリスクを減らします。

### 3-10 VIP対応

- 皇族、公式参加国要人、国会議員、自治体首長、経済団体関係者等、来館者の属性に合わせ柔軟に対応します。

### 3-11 外国語対応

- 多種多様な言語を母国語とする方々がストレスなくお過ごしいただくための環境を整備します。

#### ① ノンバーバル・コミュニケーションの採用

映像・音響イメージや、ピクトグラム・アイコン等の図表を活用します。

#### ② 直観的に理解が可能なシンプルさ

シンプルな操作で情報が得られる仕組みを採用し、ストレスフリーなオペレーション対応を行います。

#### ③ スマートフォンを活用した解説補助

グラフィックパネルの解説文にはQRコードを設けて、各自がお持ちのスマートフォンからWEB経由で外国語に対応します。

#### ④ 自動翻訳ツールの活用

日本国際博覧会協会が開発している自動翻訳ツールである逐次翻訳アプリを活用し、来館者の要望を迅速に理解し、対応します。

#### ⑤ 通訳ツール（映像通訳アプリ）の活用

多言語コールセンターへアクセスできるタブレット等を配置し、通訳オペレーターによる通訳を提供します。

### 3-12 車いす対応

- 車いす来館者に対し、安全確保のため以下の対応を行います。
  - ・ 基本的には一般来館者と同様、自由に観覧いただきます。  
但し、入館については、声を掛ける等、安全にご入館いただくように配慮します。
  - ・ 複数台の車いすが同時に来館する場合は、定員台数ごとに、順次誘導します。
- 緊急時やイレギュラー対応に備えて、スタッフに対し車いす対応の教育を行います。車いすの方でも障害の程度や身体機能の状態に応じて対応も異なるため、本人あるいは同伴者の意思をよく確かめた上で、不安感を与えないように対応します。



### 3-13 障がい者対応／サポートを希望する方への対応

#### 障がい者・サポートを希望する方への基本的な考え方

- 配慮が必要な方々へのきめ細やかな対応を実現することで、ユニバーサルなパビリオンをめざします。
- 多様な来館者一人ひとりに最適なおもてなしを行い、気持ちよくパビリオンを体験いただけるようハイレベルな接客対応を実施します。

#### 障がい者対応

- 聴覚障がい、言語障がい、発達障がい、知的障がい、精神障がい、視覚障がい、色覚障がい等をお持ちの方への対応を実施します。

#### サポートを希望する方への対応

- 妊婦・乳幼児連れ・高齢者の方、同伴者・補助犬等の帯同が必要な方などへの対応を実施します。

### 3-14 プレス対応

- 取材依頼は、報道機関等から事務局に直接依頼することを基本とします。
- 府県ゾーンに対しての個別の取材依頼があった場合、各府県はプレス対応フォーマットに記載し、事務局に提出します。
- 報道機関等への対応は館長等の立会いを原則とします。

### 3-15 遺失拾得物対応・迷子（迷い人）対応

- 遺失物、拾得物、迷子等については、日本国際博覧会協会との情報共有及び記録書類の作成等により適切に対応します。

### 3-16 各種トラブル対応

#### 傷病者対応

- 関西パビリオン内、及びその周辺で傷病者が発生した場合は、迅速な症状の把握と、その対応を心掛けます。
- 傷病者本人に意識がある場合は、庶務ディレクターから救護センターへ通報の後、日本国際博覧会協会の指示を受けて移送します。
- 傷病者の住所、氏名、年齢と症状等を確認するとともに、救護センターへ行くときは原則庶務担当が同行します。

#### 救護室の設置

- 救護室は、関西パビリオン内のバックヤード1階に設置します。
- 気分が優れない方からの訴えがあった場合、庶務ディレクターに連絡し、症状により対応し、処置が必要な場合は、日本国際博覧会協会の救護センターに対応を依頼します。

#### その他

- 来館者からのお問い合わせ等に対しては、運営統括を中心に各スタッフ連携をとり対応していきます。

**4 警備計画**

**5 清掃計画**

## 4-1 警備方針

### 警備の基本的な考え方

- 来館者・関係者の安心・安全を確保するための施設管理方針を策定し、警備の実効性を高めます。
- 不審者、不審物、事故、事件、傷病者の発生や館内異常の早期発見等緊急時に関する対策等を講じます。
- 各種設備機器に異常が発生した際は、速やかに現場確認を行い必要な措置を講じるとともに各関係機関への報告を行います。
- アテンダント等同様に、接客マナー向上に向けた教育を行います。

### 開館時の警備体制について

- 巡回警備員と防犯カメラ（録画）による警備を行います。

## 5-1 清掃方針

### 清掃の基本的な考え方

- 関西パビリオンが来館者・関係者にとって快適な環境となるよう清掃を徹底します。
- SDGsの観点から、極力ごみを出さない取り組みや注意喚起等を積極的に行います。

### 清掃員の業務

- 開館前、閉館後の清掃作業
  - ・ 会期中は、開館前及び閉館後の清掃を行います。
  - ・ 主に、床掃除、拭き掃除、屋外のごみ除去、ごみ出し等を行います。
- 常駐清掃員の清掃作業
  - ・ 会期中は、運営時間中に常駐して、館内外の清掃を行います。
  - ・ バックヤード及びトイレを含む会場全体を巡回清掃（消耗品補充）、ごみ出し等を行います。
  - ・ 嘔吐等の緊急清掃の対応もを行います。
- 定期清掃
  - ・ ポリッシャーによる床清掃を行います。（1ヶ月に1回程度）

### 清掃場所について

- 関西パビリオンの全エリア【展示エリア（府県ゾーンも含む）、多目的エリア、屋外広場、バックヤード】

## 5-2 ごみ処理

### ごみ処理について

- 3R（Reduce・Reuse・Recycle）+Renewableを推進します。
- ごみをできる限り、①発生させない、②再使用、③再利用の優先順位とし、さらには、再生素材や再生可能資源の利用を推進し、資源循環を行います。

### ごみの分別・処理について

- 館内で発生したごみは、指定されたごみの分別区分に従って、1階ごみ置き場へ持ち込みます。
- 1階ごみ置き場に集積したごみは、指定されたサブストックヤードに持ち込みます。

### 害獣・害虫対策について

- 館内やごみ置き場等に、害獣（ネズミ等）・害虫が発生する可能性を想定し、定期的に害獣・害虫予防の薬を散布します。
- 害獣・害虫が発生した場合は、清掃員が対応します。

## 6 緊急時対応

## 6-1 基本方針

## 基本的な考え方

- 全ての来館者・関係者の安全・安心を確保するための施設管理方針を策定するとともに、実効性の高い警備・衛生対策等を実施します。
- 会場ロケーションも考慮し、地震や津波・豪雨・暴風等の自然災害や火災・事故・事件・傷病者の発生等の緊急時対策、感染症に関する対策等を講じます。
- こうした安全・安心確保のために、日本国際博覧会協会や大阪府・大阪市関係部署とも連携し、危機管理体制を構築します。

## リスク分類・危機的要因の洗い出しと危機管理の3要素を考慮した危機管理計画の策定

## リスクの分類

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. Hazard (危険条件・事情) | 事故を誘発しやすい状態・環境           |
| 2. Peril (危険事故)     | 損害の原因となる事故そのもの           |
| 3. Risk (危険)        | 損失・損害そのものを指す             |
| 4. Tort (違法行為)      | なんらかの形で人あるいは物に損害を与える違法行為 |
| 5. Liability (法的責任) | 契約、習慣法、法令から生じる義務         |

## 危機管理の3要素

## ① 予防

万博一般規則／特別規則／当該規則遵守



## ② 管理

施設の警備体制と自衛消防隊の組織化



## ③ 補償

保険（博覧会総合保険等）への加入

## 博覧会における危機要因

## 博覧会の危機要因

- |          |                      |  |                                   |
|----------|----------------------|--|-----------------------------------|
| 博覧会の危機要因 | 天災 事故要因              | ・ 地震   | } -建物の倒壊<br>-交通機関の不通<br>-停電<br>等々 |
|          |                      | ・ 風害   |                                   |
|          |                      | ・ 水害   |                                   |
| ・ 台風     |                      |  |                                   |
| ・ その他    |                      |  |                                   |
| 人災 事故要因  | ・ 火災                 | } -危険物（爆発性／可燃性／有毒性）<br>-構造物の欠陥（エクステリアの事故等）<br>-環境衛生上の欠陥（食中毒／害虫等）<br>-環境汚染（騒音／汚水等）<br>-疫病（感染症／伝染病／日射病等）<br>-群集心理（観客誘導・整理による事故）<br>-犯罪（盗難／傷害／テロ等）<br>-輸送機関の事故<br>-その他 運営／操作／安全管理ミス |                                   |
|          | ・ 危険物（爆発性／可燃性／有毒性）   |  |                                   |
|          | ・ 構造物の欠陥（エクステリアの事故等） |  |                                   |
|          | ・ 環境衛生上の欠陥（食中毒／害虫等）  |  |                                   |
|          | ・ 環境汚染（騒音／汚水等）       |  |                                   |
|          | ・ 疫病（感染症／伝染病／日射病等）   |  |                                   |
|          | ・ 群集心理（観客誘導・整理による事故） |  |                                   |
|          | ・ 犯罪（盗難／傷害／テロ等）      |  |                                   |
|          | ・ 輸送機関の事故            |  |                                   |
|          | ・ その他 運営／操作／安全管理ミス   |  |                                   |
| 特殊 事故要因  | ・ 国際紛争や戦争等           |  |                                   |

## 6-2 実施可否判定会議

## 実施可否判定会議

- 日本国際博覧会協会が規定する災害規定に則り、関西パビリオン内の災害規定を超えた場合は実施可否会議を行い、開館等の実施可否を判定します。
- 深刻なハードトラブルや関西パビリオン内の事件・事故等が発生した場合に、関西パビリオン内で実施可否を判定する会議を設置します。
- 館長／各ゾーンの代表8名／運営統括／庶務ディレクター／管理ディレクターで組織します。

## 実施可否判定内容

- 実施可否判定組織により、開館等の実施の可否を協議し、日本国際博覧会協会に報告します。

## 6-3 緊急対策会議

## 災害対策基準

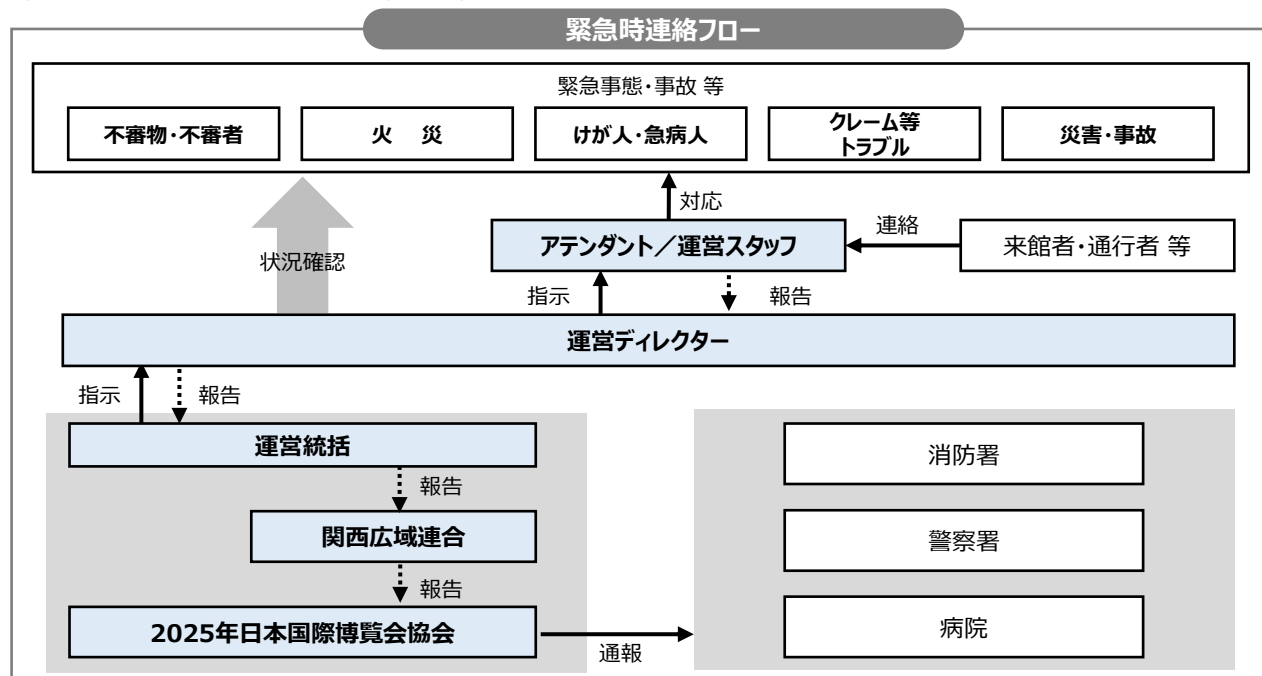
- 各種災害に関する日本国際博覧会協会の防災基本計画における災害対策活動に準じて、関西パビリオンとしての対応を行います。

| 火災種別 | 日本国際博覧会協会の防災基本計画における災害対策活動   | 関西パビリオンの対応   |
|------|--|--|
| 地震   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 非常放送（身を守る措置を促す）</li> <li>■ 避難誘導</li> <li>■ 負傷者および建造物被害の確認</li> <li>■ 応急救護措置</li> <li>■ 公共交通機関の運行状況確認</li> <li>■ アクセスルートの被害確認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国際博覧会協会の防災基本計画をベースに、館緊急時対応マニュアルを策定し、運用します。揺れが収まるまで、転倒の恐れのある資材を避け、退避</li> <li>・ 揺れが収まった段階で、館内においては館外への避難</li> <li>・ 館外においては、日本国際博覧会協会指定避難場所へ誘導</li> <li>・ 館担当者による各所との情報共有、対策協議体制を確立します。</li> </ul> |
| 津波   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 非常放送（混乱を防ぐ広報）</li> <li>■ 津波情報に留意し会場内に留まるよう指示</li> <li>■ 大屋根リングには上がらないよう指示</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国際博覧会協会の防災基本計画をベースに、館緊急時対応マニュアルを策定し、運用します。</li> <li>・ 館外への避難誘導を優先し、館外退出後は日本国際博覧会協会指定避難場所へ誘導します。</li> </ul>  |
| 風水害  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 早めの帰宅案内</li> <li>■ 警戒活動</li> <li>■ 浸水対策</li> <li>■ 強風対策</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国際博覧会協会の防災基本計画をベースに、館緊急時対応マニュアルを策定し、運用します。</li> <li>・ 館担当者による各所との情報共有、対策協議体制を確立します。</li> <li>・ 土壌等の対策備品を常備し、使用訓練を実施します。</li> <li>・ 飛散が想定される物品を退避します。</li> </ul>                                   |
| 落雷   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大屋根リングや静けさの森の早めの退避</li> <li>■ 屋内避難</li> <li>■ 屋外イベントの中止を検討</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国際博覧会協会の防災基本計画をベースに、館緊急時対応マニュアルを策定し、運用します。落雷への注意喚起</li> </ul>   |
| 猛暑   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 熱中症に関する注意喚起</li> <li>■ ゲートやパビリオンの滞留対策</li> <li>■ 急病人発生時の対応</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイン、誘導案内による積極的な注意喚起を行います。</li> <li>・ 庇屋根の設置及び、暑熱対策備品の導入を検討します。</li> <li>・ 日本国際博覧会協会の防災基本計画をベースに、館緊急時対応マニュアルを策定し、運用します。</li> </ul>   |
| 火災   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動火災報知設備発報時の日本国際博覧会協会警備隊の対応</li> <li>■ 自衛消防隊による初期消火、通報、避難誘導</li> <li>■ 119番の通報</li> <li>■ 警察・消防との連携</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国際博覧会協会の防災基本計画をベースに、館緊急時対応マニュアルを策定し、運用します。</li> <li>・ 自衛消防隊を組織し、火災時に対処いたします。</li> </ul>   |

## 6-4 各種緊急時対応

## 緊急時連絡フロー

- 様々な事態にも迅速に対処しうる緊急連絡体制を構築します。



## **7 運営要員採用・研修計画**



## 7-1 運営要員採用・研修計画

## 採用計画

## 採用についての方針（人物像）

1. 性別、世代、国籍、障がいの有無を問わない採用
2. パビリオン運営成功に向けて同じ思いを持った多様な人材の採用

## 基本的な選考基準

## コミュニケーション能力

- 態度や言葉遣いは適切か
- 円滑にコミュニケーションをとる能力があるか

## 専門スキル

- 表現力、聞き手になるスキルがあるか
- 来館者のニーズを理解し的確に伝えるスキルがあるか
- 外国語や手話対応等のスキルがあるか（※必要に応じて）

## サービスマインド

- おもてなしの心、来館者を大切にする姿勢があるか
- 問題解決能力があるか
- 身だしなみに問題がなく、挨拶ができていますか
- 本事業を遂行する体力／気力に問題がないか
- 本事業に関する関心と熱意が感じられるか

## 協調性

- 協調性があり、チームや他のスタッフと協力して柔軟に働けるか

## その他

- 業務内容／就業条件が本人の希望に即しているか

## 選考フロー（例）

- 大阪・関西万博で働く就業意欲の低下を招かない選考過程を構築します。
- 各種媒体の動向を日々管理しながら、エントリー数・採用数が不足する場合は追加募集を行います。

エントリー

一次選考

適性検査

二次選考

採用

WEB応募

WEB面接

WEB試験

対面面接

内定

## 7-1 運営要員採用・研修計画

## 採用スケジュール（例）

- 大阪・関西万博の各パビリオンのスタッフ採用活動が集中するため、関西パビリオンの運営に必要なスタッフの確実な獲得に向け、エントリーから内定までを短期間で行います。

## 内定から研修まで

- 内定後も、定期的にメールや情報発信を含んだフォローを行います。

## 研修

## □ 研修スケジュール（例）

- 2024年10月より順次オンライン事前研修を実施します。
- 2025年3月に現地研修を実施します。
- 配慮が必要な方への対応研修をしっかりと行い、万博にふさわしい運営を実現します。

